



主な内容

- 3……市史だより 4……パブリックコメント
- 5……年金通信 6……臨時職員登録者募集
- 7……二次救急実施病院 8……あれっこわい認定制度

発行／名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 ✉ pr@city.nabari.mie.jp 🌐 http://www.city.nabari.lg.jp

高齢者の運転を考える

車との付き合い方



高齢者が交通事故の「加害者」になるケースが増えています。そこで、平成29年3月から、道路交通法が改正されます。運転する者として、事故を起こさないために、ゆとりを持った運転など、車との付き合い方を考えていく必要があります。

今号では、高齢者の事故を防ぐため、交通安全協会の取り組みを紹介するとともに、長年安全運転を続けている人、運転免許証を自主返納した人に話を伺いました。

📍 名張地区交通安全協会（名張警察署内） ☎ 63-1705

自分の運転を過信しないで

高齢者の事故が目立つ訳

高齢ドライバーの重大事故が、相次いで報道されています。75歳以上の高齢者の事故が増えているように思われがちですが、実は全国的に見ると、その数はほぼ横ばいです。しかし、交通事故の総数が減少傾向にあるため、75歳以上の人が占める割合が増えているというのが現状です。

交通安全協会の取り組み

こうした高齢者の事故を未然に防ぐために、交通安全協会では、さまざまな活動に取り組んでいます。

毎月21日を高齢者交通安全の日として大型店舗で反射材を配ったり、安全指導を行なう高齢者交通安全アドバイザーを任命したり、交通安全教室を地域に出向いて開催したりしています。交通安全協会の各種活動は、ボランティアの皆さんによって支えられています。また、任意でご協力いただいている交通安全協会費は、こうした活動に役立てています。

地域で開く交通安全教室

交通安全教室は地域の高齢者学級の中などで、平成27年度には年間16回、約500人に対し



地域で開催する高齢者の交通安全教室

て研修を行いました。歩行者として気を付けることや、運転のときに気を付けることをお話しています。

年を重ねると視力や動体視力が落ちていたり、視野が狭くなったりします。そうすると、標識や信号だけでなく、歩行者や車を見落としてしまうことがあります。

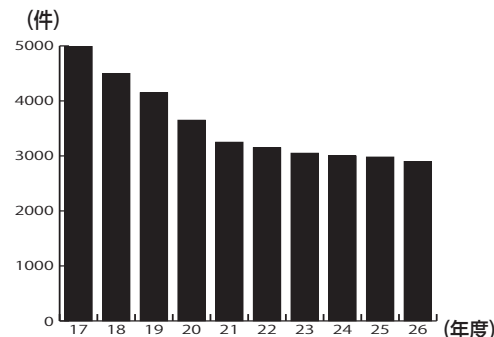
自分は大丈夫だと思っても、認知・判断が遅れることがあります。だからこそ安全運転の意識が必要です。交通安全講習などを活用して運動能力をチェックし、安全運転を心掛けてください。



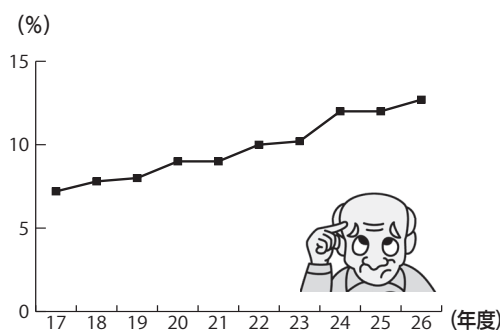
名張地区交通安全協会
事務局長 島岡 勝さん

交通事故の情勢

■ 全国の死亡事故件数



■ 75歳以上が加害者となっている割合



■ 高齢ドライバーの主な事故原因

- ① アクセルとブレーキの踏み間違いや、ハンドル操作の誤り
- ② 長年の経験からの慣れによる油断
- ③ 加齢による運転に必要な運動能力の低下や判断能力、認知能力の低下
- ④ 認知症などの病気

